

平成30年度  
テクノエイドワーキンググループ  
活動報告書

令和元年5月

テクノエイドワーキンググループ

## 1. はじめに

テクノエイドワーキンググループ（以下、テクノWG）は、千葉県千葉リハビリテーションセンター（以下、センター）におけるテクノエイドセンター構想の具体化のために、平成21年12月より活動を開始した。

平成30年度は、福祉用具研修会の開催、センター内各部署への福祉用具相談支援、企業との共同研究、千葉県福祉機器展への出展及び各作業班の活動を行った。本報告書では、平成30年度のテクノエイドWGの活動の詳細を報告する。

## 2. 平成 30 年度福祉機器展示室の利用状況について

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの利用状況を報告する。なお「福祉機器展示室鍵貸出簿」の記入に基づき集計したため、鍵貸出簿への記載が無い利用は含まれていない。

展示室の利用回数は合計 244 回であった(図 1-1)。10 月の利用回数が最も多く 36 回であった。一方、1 月は利用が少なく 10 回であった。1 ヶ月の平均利用回数は 20 回であった。

延べ利用者数は 803 名であった(図 1-2)。10 月の利用者が最も多く 172 名であった。10 月は福祉機器展示室を利用した外部向けの研修会、見学対応が多く実施されたため、他の月よりも利用者が多かった。1 ヶ月の平均利用者は 67 名であった。(10 月を除くと 57 名)。利用者の内訳は、理学療法士が 180 回(73.8%)と最も多く、ついで作業療法士 53 回(21.7%)、MSW5 回(2%)であった(図 1-3)。

利用目的は、患者への試用 121 件(49.6%)、用具返却 37 件(15.1%)、見学(外部) 19 件(7.8%)であった。(図 1-4) 試用した用具は、移乗用リフト 65 件(26.6%)が最も多く、ついで車いす 55 件(22.5%)、移乗用具 20 件(8.1%)であった。(図 1-5)

(単位：回)

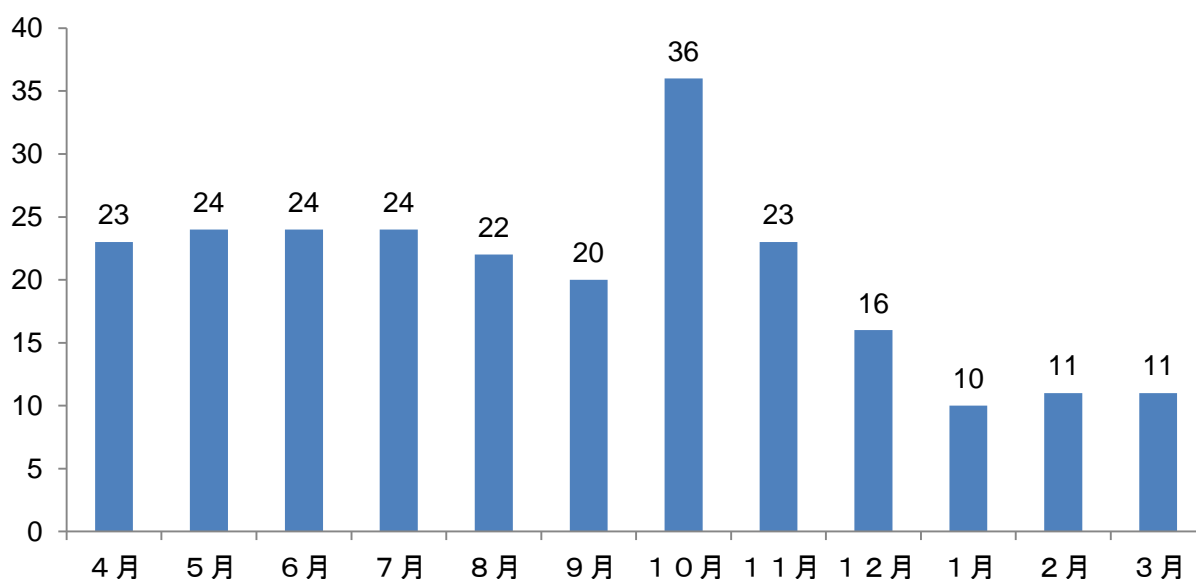


図 1-1 利用回数 合計 244 回

(単位：名)

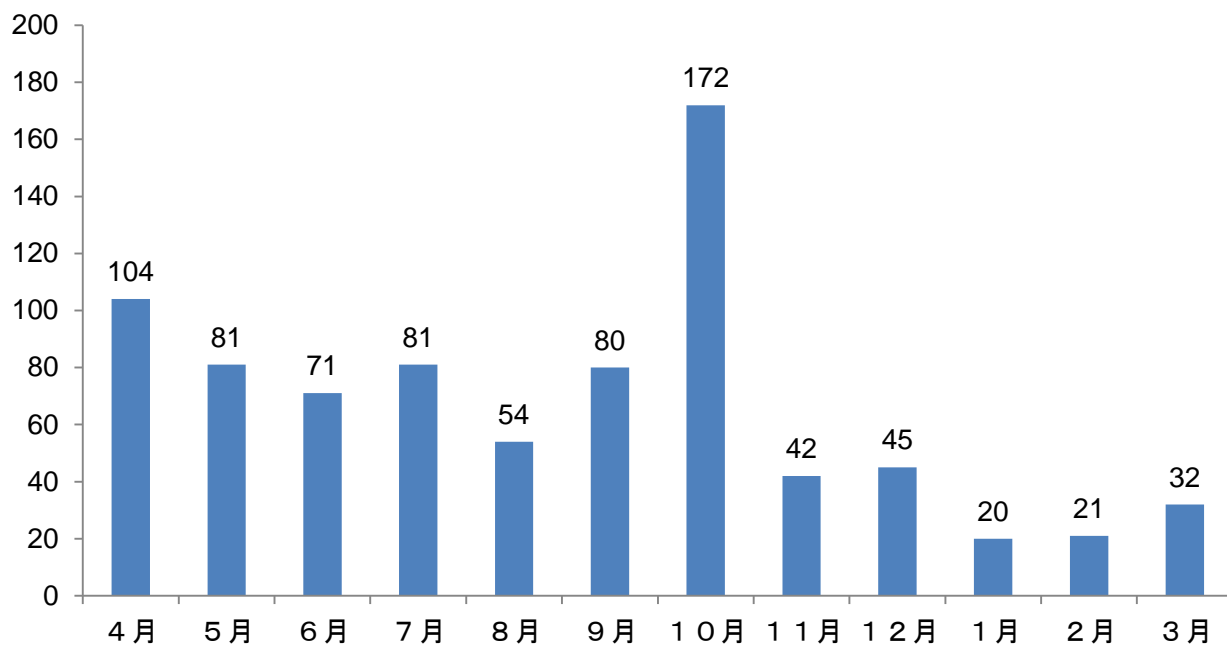
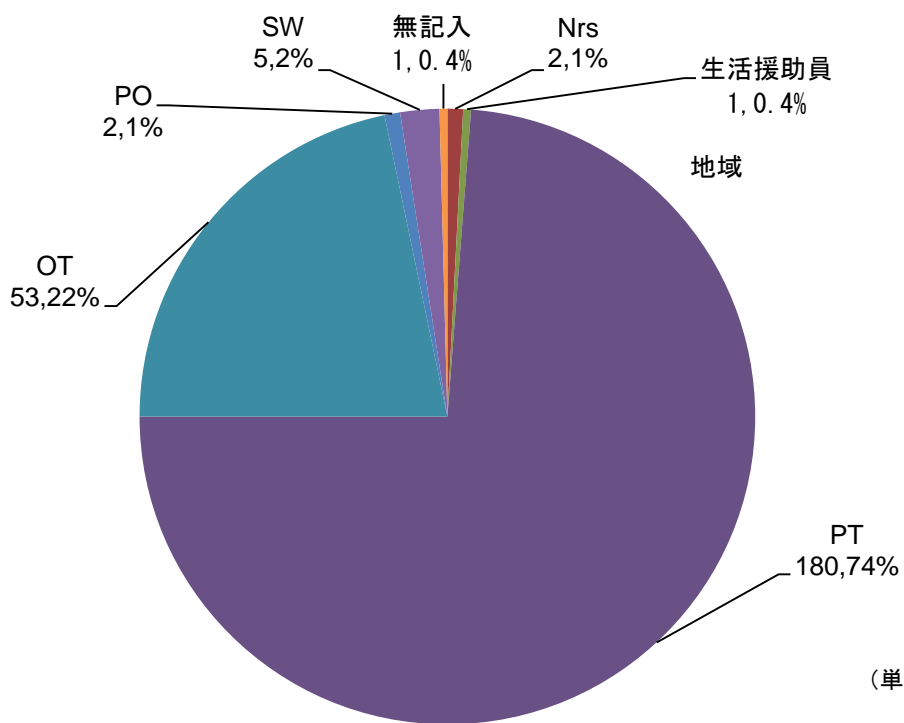


図 1-2 利用人数 合計 803 名



(単位：件、%)

図 1-3 職種合計 計 244 件

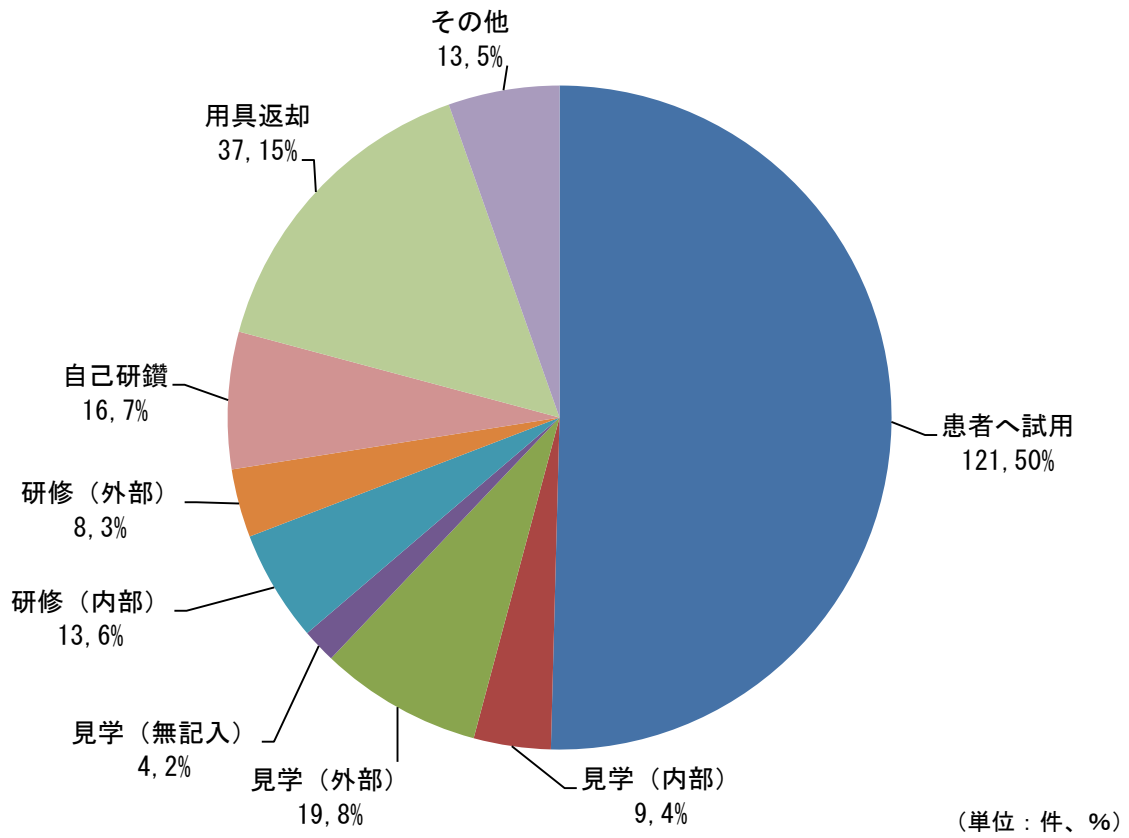


図 1-4 利用目的 合計 244 件

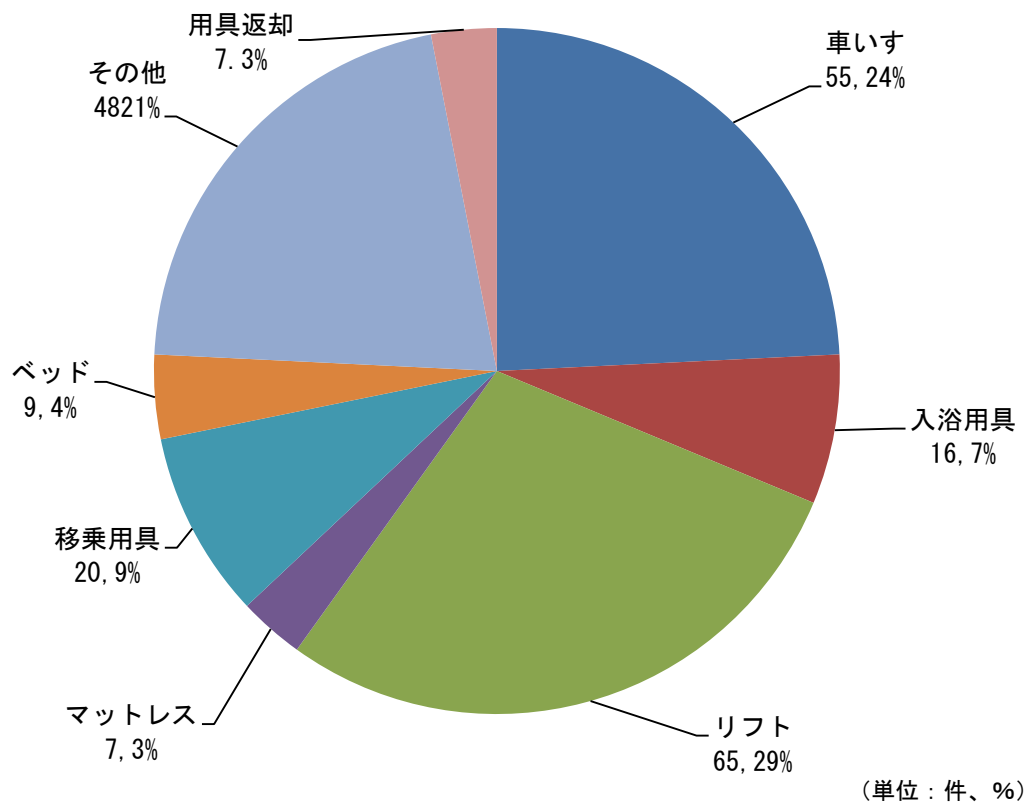


図 1-5 試用した用具 合計 244 件

### 3. 各作業班の活動報告

#### (1) 車いす班

##### ◆主な活動内容

- トランスファーボード、リフト研修を実施
- Xセンサーによる体圧計測を 11 件実施

##### ◆研修会等の開催

#### 1) トランスファーボード研修会

日時：平成 31 年 5 月

内容：新入職員を対象としてトランスファーボードの使用研修会を開催

講師：北郷（PT）

参加対象者：センター職員

参加人数：8 名

#### (2) 入浴、排泄、環境制御装置班（成人 OT，小児 OT）

##### ◆主な活動内容

- トイレの住宅改修・福祉用具についての研修会の開催

##### ◆今年度の課題

- 入浴、排泄の相談窓口の確立
- 病棟でのチルトリクライニング付きのシャワーキャリーの導入
- 入浴、排泄関連の福祉用具の最新情報収集

##### ◆研修会等の開催

#### 1) 第 1 回トイレの住宅改修・福祉用具について

日時：平成 31 年 2 月 27 日

内容：トイレに関する家屋改修や福祉用具導入に関して、センター入院患者の退院支援の報告、及び質疑応答

講師：神保・川原・工藤・岡本（成人 OT）

参加対象者：センター職員

参加人数：15 名

2) 第2回トイレの住宅改修・福祉用具について

日時：平成31年3月7日

内容：入浴、排泄に関わる福祉用具の導入例や費用説明、福祉用具デモ

講師：(株)スペースケア岡様、(株)ウィズ森永様、アロン化成(株)石河様

参加対象者：センター職員

参加人数：26名

(3) 小児PT・OT

◆主な活動内容

- 職員研究発表会で、「小児病棟への移乗用リフト導入支援」を報告
- リフト導入について、病棟向けの研修会や業務内での使用に関する相談支援によりリフトを使用可能なスタッフが増え、使用技術も習熟している
- 外来ケースで2例のリフト導入相談・支援を行い、いずれも導入につながった。

◆今年度の課題

- テクノ WG 小児部門でXセンサー取り扱いできるセラピストの育成および使用
- コミュニケーションエイド、環境制御装置の事例や適応例の収集
- 小児分野でのバギー・車椅子など補装具のデータベース化（一覧表作成）

◆研修会等の開催

1) ポジショニングクッション体験会

日時：平成30年12月10日

内容：ポジショニングクッション体験会

講師：小児PT 宇津木、金坂

参加対象者：センター職員

参加人数：18名

2) コミュニケーションエイド、環境制御装置体験会

日時：平成31年1月21日

内容：視線入力トビーeye MOT、アマゾン Echo の使用体験会

講師：小児OT 三屋、成人OT 神保

参加対象者：センター職員

参加人数：20名

#### (4) リフト班

##### ◆主な活動内容

- リフトの新規導入に関する製品選定をサポート（3C棟で新規設置あり）
- 小児病棟におけるリフト導入の相談支援を受け付けた（相談なし）

##### ◆今年度の課題

- リフト対象者が一時的に増えた際の対応方法の検討（リフトの確保、対象者選定など）
- リフト対象者への導入方法の検討（導入の流れ、職種ごとの役割分担、スタッフ研修など）
- 在宅支援としてリフトを導入した事例のフォローアップ

#### (5) マットレス班

##### ◆主な活動内容

- マットレス交換時にXセンサーを用いて体圧測定を実施
- Xセンサーの使用状況確認（データの振り返り）

##### ◆今年度の課題

- 褥瘡対策委員会とのマットレス選定のアルゴリズムの見直し
- マットレス交換時の体圧測定の実施継続
- Xセンサーの計測データの蓄積、フィードバック体制の構築

#### (6) 外部班

##### ◆主な活動内容

- 福祉用具業者、メーカーに協力依頼をした各種研修会の連絡調整を実施
- 第18回横浜ヒューマン&テクノランドに参加し、視察および情報収集
- 国際福祉機器展2018に参加し、最新の福祉機器の情報収集
- 第13回千葉県福祉機器展2018にリフト体験会を出展。また同イベント内で開催された専門職向け研修で講師を担当

##### ◆今年度の課題

- センター外部向けの相談対応体制の整備



## 4. 企業との共同研究、相談対応

- ダイヤ工業㈱と下記共同研究を実施した。使用効果の検証を行い2019年度の日本リハビリテーション医学会学術集会で報告予定である。(担当 神保)

### <研究内容>

研究名：パワーアシストグローブにおける連続的他動運動（CPM）が頸髄損傷者の手指の痙縮、浮腫に及ぼす即時効果の検証

研究目的：パワーアシストグローブにおける連続的他動運動（CPM）が頸髄損傷者の手指の痙縮、浮腫に及ぼす即時効果の検証

対象：7例を対象に実施

進捗：製品の仕様変更に伴い、研究名を「Power Assist Glove-EXにおける連続的他動運動（CPM）が頸髄損傷者の手指の痙縮、浮腫、運動機能に及ぼす効果の検証」に変更し、データ集積を実施している。現在、2例実施済み

- ㈱FUJIの移乗サポートロボット HUG、㈱シンテックホズミの Tecpo、ナブテスコ㈱の歩行器のデモ試用を行い、試用結果を各企業へフィードバック
- 企業との共同研究、相談対応の課題として、臨床研究法の対象機器の効果検証の際の対応方法の確認、協議が必要

## 5. 体圧測定について

- Xセンサーを使用した体圧評価を実施し、褥瘡予防およびシーティング、ポジショニングの検討に活用した。平成30年度は11件の計測対応を実施した。

## 6. センター内の相談体制強化について

- 福祉用具に関する相談担当、メールアドレスを整備しセンター内へ周知した。
- 人材育成部だよりに通年で福祉用具に関する記事を投稿した。
- センター内各部署から福祉用具に関する相談対応を 35 件行った。主なものは下記の通り。
  - ✓ リハ療法部：個別リハビリに立ち会い、リフトやマットレス、移乗支援用具などの選定に関するアドバイス
  - ✓ 病棟：入院患者の退院後生活で試用する自助具の相談。ニアミス事例の再発防止目的に移乗用リフトの設置に関する相談支援
  - ✓ 総合相談部：外来利用者へスロープの紹介、相談対応の協力
  - ✓ 脊損リハケア WG：リフト導入にむけた情報収集、導入コストの試算対応
  - ✓ 総務部：センター見学者への福祉機器展示室の紹介・説明対応

## 7. 研修等

センター職員を対象に福祉用具に関する資質向上を目的に各種研修を実施した。今年度は福祉用具を身近に体験する機会として福祉用具体験会を企画した。前述の各作業班での報告と一部重複がある。

### (1) トランスファーボード研修会

日時：2018 年 5 月

内容：新入職員を対象のトランスファーボードの使用方法的研修

講師：北郷 (PT)

参加対象者：センター職員

参加人数：8 名

### (2) 移乗用リフト体験会

日時：2018 年 10 月 15 日

講師：北郷 (PT)

参加人数：15 名

### (3) マットレス体験会

日時：2018 年 11 月 12 日

講師：相澤 (生活援助員)

参加人数：17 名

(4) コミュニケーションエイド、環境制御装置体験会（再掲）

日時：2019年1月21日

講師：小児OT三屋、成人OT神保

参加人数：20名

(5) 第1回トイレの住宅改修・福祉用具について（再掲）

日時：2019年2月27日

講師：成人OT神保・川原・工藤・岡本

参加人数：15名

(6) 第2回トイレの住宅改修・福祉用具について（再掲）

日時：2019年3月7日

講師：㈱スペースケア岡様、㈱ウィズ森永様、アロン化成㈱石河様

参加人数：26名

## 8. 現在の課題、及び次年度の目標について

現在の課題、及び次年度の目標について下記3点を挙げる。

(1) センター内への福祉用具の啓発及び、活用する体制の強化

センター内向けの福祉用具の相談窓口の周知や研修会開催を通じて、センター職員の福祉用具の認知度が高くなっている印象がある。年々、福祉用具の相談が増えているため、引き続き相談体制の充実や福祉機器展示室の展示品の充実、各種研修、及び対応スタッフの育成に取り組みたい。

(2) センター職員の福祉用具使用技術の向上

患者、利用者支援のため各福祉用具に関する選定、使用技術向上の取り組みをしたい。特にリフトや移乗支援用具に関する個別相談が多いため、全体研修を企画しセンターとしての福祉用具の使用や選定技術の向上を図りたい。

(3) 外部への情報発信機能の整備

外部者向けの相談機能の確立を目指したい。また、継続的に千葉県福祉機器展などの参加し、県内への福祉用具の啓発をしていきたい。

部署	氏名
看護局	今 澤 文 男
看護局	池 田 克 枝
成人療法室 理学療法科	北 郷 仁 彦
成人療法室 理学療法科	後 藤 拓 也
成人療法室 作業療法科	岡 本 美 希 子
成人療法室 作業療法科	神 保 和 正
成人療法室 作業療法科	川 原 佑 亮
成人療法室 作業療法科	工 藤 大 弥
小児療法室 理学療法科	金 坂 一 篤
小児療法室 理学療法科	宇 津 木 隆
小児療法室 作業療法科	三 屋 邦 明
小児療法室 作業療法科	中 井 麻 梨 子
福祉局	相 澤 浩 美
補装具製作施設	浦 田 敦
地域リハ推進部	田 中 康 之
地域リハ推進部	後 藤 達 也
地域リハ推進部	太 田 直 樹

平成 30 年度 テクノエイドワーキンググループ活動報告書

平成 31 年 3 月